

# 本を選ぶ

## 高校図書館版

NO.37 2004年(平成16年)5月10日

●発行/ライブラリー・アド・サービス  
本社 〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 5-20-5-504 TEL=03-3235-6168

ぶっく・えんど

### なぜかいつも図書館に

つい最近実家に戻った折り、ひさしぶりに図書館に足を運んだ。子どものころによく通った思い出の図書館は取り壊されて、移転して建て直された図書館だが、私にとって図書館は懐かしい場所である。

最も頻繁に図書館に通ったのは、中学・高校のころだった。中学三年の夏休みには、受験勉強と偽って、自転車で10分ほどの図書館に入りびたり、手当たり次第に小説を読みふけていた。古い書庫の中で、古い本を好きに手にとって開いて見ることが楽しかった。この図書館は、都内ではめずらしく小高い丘の中腹にあり、緑に囲まれていて夏でも涼しかった。古い建物で冷房もなく、開け放たれた窓の外は美しい緑の樹木が木陰を作っていた。薄暗くひんやりした館内を歩くと、コツコツという足音が響いた。

私の入学した高校の隣には、大きな公立の図書館が建っていた。レコードの貸出や軽食喫茶もあった。当時としては新設の明るい図書館で、どうも落ち着いて本を読むような空間ではない気がした。高校に入ってテニスを始め、図書館では本よりも、軽食喫茶の売店でホットドックとミルクを食べることが日課となっていた。

が、高校も三年生になるとまたしても図書館

通いが始まった。受験の重圧から逃げるかのように、いつのまにか学校より先に隣の公共図書館に入るようになっていた。しかし、あまりに遅刻が増えすぎて担任から注意されたため、高校内の図書室に場所を移して本を読み漁った。

そして、大人の入り口に立った私は哲学書などを手にとるようになっていた。もちろん当時の私に読み解ける力はなかったが、そのころ読みかじった哲学書が、最終的に進路を「哲学」にしたきっかけになったのだと思う。

もともと本好きで外よりも家の中で本を読んでいることが多かった。友だちの家に遊びにいても、面白そうな本を見つけて読み始めてしまうこともたびたびあった。が、下町生まれの下町育ち、工務店をしていた我が家は職人さんの出入りも多く、いつもにぎやかで、私も活発で人なつこく、いつも部屋には友だちが遊びに来ていた。

いったいつ図書館に行っていたのだろうか？ 振り返ってみると、私はどうやら自分と対峙する場面を迎えたとき、なぜかいつも図書館にいたようだ。

図書館の司書という職業を意識したのは大学のころで、資格の取得も考えたがバイトに明け暮れて果たせなかった。そういえば、高校の図書室で本を借りるときにも女性の司書さんがいたように思う。誰もいない図書室でユングやフロムを読みふける女子学生をどんな気持ちでご覧になっていたのだろうか。元気にしていると知らせたいような気持ちになった。

(前保 優子)

## 「ダレ気味?の七年目」と言いながらも

宮崎健太郎

「赴任七年目。いい意味で力が抜けて仕事ができるようになった一方で、毎日の仕事に澱のようなものがたまってきています。

生徒や先生方とのいい関係、長くいるから見える学校の事情、どの棚にあるかが把握できている自館の資料、7年間の仕事の積み重ねで得てきたものはたくさん。でも、ちょっと前までは「こうすればいいかな…」と湧いてきた改善のアイデアも最近では枯渇気味。さらに「でも、それは前に試してダメだった」と、過去に引きずられることも多くなってきました。

自分自身を振り返れば、もともとが飽きっぽい性格の上、親の仕事の都合で引っ越しを繰り返した育ち。同じ場所にずっといるのは苦手なようです。ダレている、というのは言い過ぎにしても、そろそろ環境の変化が必要な時期なのでしょう。

**本を読むのは当たり前と思ってもらうために**

そんな今年ですが、ダレないためにも試してみたいと思っていることが一つあります。本をすすめる人を増やそう、というものです。

昨年秋、たまたま、ネット上の新聞記事で見つけた、「京都市の子ども読書活動のためのアピール（中間発表）」によると本を読まない親の子は1冊も読まない子が2割、対して10冊近く読んでいる親の子に不読の子はなし、とか。たぶん、前者の子は家で本に興味を持つきっかけがなかったんだろう、と予想できます。

翻ってウチの学校。生徒の読書離れは深刻。本はおろか、新聞を取っていない家庭もチラホラ。家に活字がなく、学校でも本について語られなければ、生徒が読書を日常の行為と思ってくれるはずはないですね。それなら、読書をする環境が普通、と思わせればいい、司書一人で本を紹介しようと立ち向かうのはやめて、本の話をする人を増やそう、そう思ったのです。

**友だちに本をすすめてもらおう**

でもどうやってすすめる人を増やすのか。一つは、生徒の口コミを煽ろう作戦です。あれだけ司

書がすすめて動かなかった本が、最近生徒同士の口コミで回転しっぱなし——そんな経験をお持ちの司書は少なくないのでは。そこで、意識して口コミを仕掛けてみようかとくらんでみえています。

でもこれは、簡単なようで実は難しい…。本の返却時になるべく声をかけたり、加えて「他の子にもすすめてね」と声をかけるようにしていても、口コミが広がるわけではありません。

ここしばらくは生徒の人間関係を観察しています。一人一人に声をかけるのに加えて、学年や部活のなかで誰に本の話を読めればより効果的に口コミにのせてくれるか、探りを入れています。少しでも影響力の大きい子に口コミでふれてもらうことで、仲間うちに読書をしているのがいる、と思う機会を増やせばこっちのものだと思っているのですが、果たして成果はあがるのでしょうか。

**本を先生にすすめてもらおう**

もう一つは、教員の口から本を紹介してもらおう作戦です。

「生徒は本を読まないよね」と事あるごとに口にする先生方も、忙しくてあまり本が読めないというのが現状のようです。そこで考えたのが、「教員向けインスタント図書館通信作戦」。職員室の話題で関心の高いテーマについて簡単なブックリストを作り、教員だけに配布してしまおうという作戦です。手間をかけないため、紙面はペンで書き殴り。先生も本を手に入れているんだ、という空気が生徒に伝わればいいやと思っているので、選ぶテーマや本は教室で生徒への話の題材になるようなものを意識して選んでいます。作成したブックリストは生徒には配りませんが、館内の展示に活用して、一石二鳥です。

どちらも、それくらいのこと、と言われてしまいそうですが、結局は千里の道も…なのでしょう。

まずは司書である自分自身がどれだけ本のことを語れるかが一番重要。

さて、本を読みますか。

(みやざき けんたろう：埼玉県立小鹿野高等学校司書)

# エンジン全開 ー三人目の産休もあけて、職場に復帰ー

木下 通子

新学期に入り、1か月がたちました。みなさんの図書館も活動が軌道に乗ってきましたか？

うちの図書館も一年生のオリエンテーションが無事に終わり、やっと一年生がワイワイと図書館にやってくるようになりました。

## おかげさまで産休も充実

三人目の出産で産休・育休をもらっていた私も昨年11月に無事に職場復帰し、毎日楽しく仕事に通っています。そして、いちばん上がこの4月から小学校に入り、ほとんど手がかからなくなりました。ただいま怪獣真っ盛りの1歳児もさすが三番目。上の二人を見よう見まねでなんでもどんどん覚えてくるし、ぐずぐず親に甘えてくるということがほとんどなく、楽々育児をしています。

何よりありがたいのは、子どもたちがほとんど病気をしないこと。だから、この冬も元気に保育園に通えました。二番目の子どもを助産院で産んでから自然育児にめざめた私は、病気をしても子どもたちにほとんど薬を使いません。食事にも気を使って、ご飯（お米）中心の食生活なので、免疫力もアップしているようです。

今回の育児休業では、今までとまったく違う出会いがありました。一つは、助産院で知り合ったママ達と育児サークルを立ち上げて、助産院を起点に活動を広げていること。助産院に集うママはなぜか、いま専業主婦でも元保母さんや元教師の人が多くて、そういう育児仲間と知り合ったことが私の世界をぐんと広げてくれました。

もう一つは、ネット起業家のママ達と知り合いになったこと。オモチャやベビースリングなどの育児用品を開発、販売している人達と友だちになりました。そのママ達のバイタリティには圧倒されまくり！思わず、このまま公務員として働いているより、自分で起業して何か事業を興してみようか…なんて気持ちにさせられたほどです。

私は産休代替えの方にも恵まれていて、3人ともとてもいい方でした。今回、私の代替えで春日部東高校に来てくれたSさんも、仕事はできる

し、気が利くし、生徒との対応も上手だし。うちの学校に在職中に公共図書館の採用試験に受かり、現在は公共図書館司書として活躍中です。

彼女のおかげもあって、貸出はまたまた順調に伸びました。今年の活動記録が次のとおりです。

★1日平均貸出冊数 101冊（総貸出冊数/開館日数）

★生徒1人あたりの貸出冊数

01年度 3.6冊

02年度 14.7冊

03年度 18.4冊

★職員1人あたりの貸出冊数

03年度 13.4冊

## 図書館システムのサーバーが壊れた！

保育園に入って初めての冬だから病気でお休みすることも多いだろうし、まずはリハビリ程度…なんて考えていたのですが、思ってもいない事態が起きました。図書館システムのサーバーが壊れちゃったんです。

復帰した次の週の月曜日、パソコンを立ち上げようとしたら電源が入らない！パソコンにくわしい視聴覚担当の先生に見てもらっても原因がわからず、SEさんと呼ぶことになりました。

結局、再インストールすることに。復旧までに2週間もかかってしまい、その間は手動貸出に切り替えて作業しました。うちの学校のシステムは1999年に導入されたもので、導入から5年経ち、ハードが古くなっているのが原因かも…ということでした。

実は着任当初から、いちばん気になっていたのが、ソフトの使い勝手の悪さです。何より不便なのが、検索したデータを印刷することはできても、ファイル形式で出力できないこと。新着図書案内を作るときも、データを紙に打ち出して、それをワープロソフトに打ち直すという二度手間をしている現状です。その他にも何項目か、なんでこんなことができないの！と思う点があり、パソコンを購入するのならあわせてソフトの更新も



と学校に予算要求をすることになりました。

### 手順を踏んで組織的に

うちの学校は、何をするのも組織的に動く学校です。最初はわりと潤沢な図書予算から分割払いでもお金を捻出して、図書館独自ですすめてめてしまおう…と考えたのですが、図書主任に話を持っていった段階で即却下。現在のパソコン導入にもものすごく高額なお金を使っているの、システムを変更するのなら、全職員とお金を出してくれるPTAのみなさんに理解を得なければならぬということです。それから、あっちこっちに話を通して行くのが大変でした。

図書主任から図書視聴覚部主任へ。図書視聴覚部の主任は、学校全体のコンピュータを管理している責任者なので、そちらに理解してもらうのがまず第一なのです。そして、事務関係と話をつめて…。現在、視聴覚担当で図書館のシステム更新担当になってくれた先生と相談中なのですが、「仕様書」を作成し、業者の入札で作業を進めようということになりました。予算要求もあわせて、学校、PTAとも交渉中です。

入札業者を選ぶにあたっては、図書データを移行できるソフトでなければ意味がないということで、いくつかのソフトを検討しました。その結果、2社にしぼられ、現在は「仕様書」の第一稿完成間近のところ

です。パソコンの導入は前任校でも経験してきたことですが、学校の中のシステムの一つとしてのパソコン導入を経験するのは初めてのことです。自分で原案を考えたら、担当の先生に目を通してもらい、ハード関係のことを付け加え、事務とも相談して、話を進めていく。打ち合わせの回数も多いし、自分の都合で動けないので不便も多いのです。その上、上手に話を持っていかないとこちらのやりたいことが実現できないし。きつと、集団

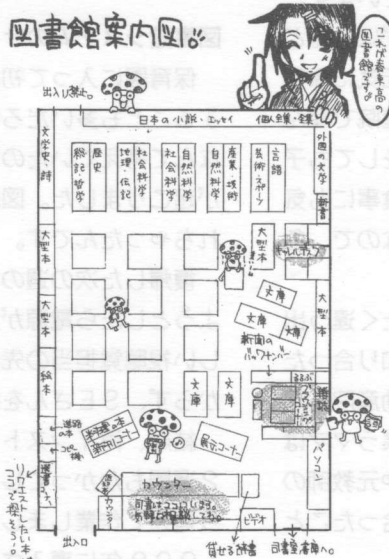
で企画をたてて動くというのはこういうことなのでしょう。一人職種の私にとって、組織で動くことを勉強できる機会になっています。

書架移動・模様替え・利用の見込めない本を抜くソフトのこと以外で気になっていたのは、図書館のレイアウトでした。産休前の夏にソファを入れたり、雑誌架を変えたり、スチール書架に側板を付けたりはしたのですが、まだまだ図書館は殺風景。なんだか、しっくり来ていませんでした。

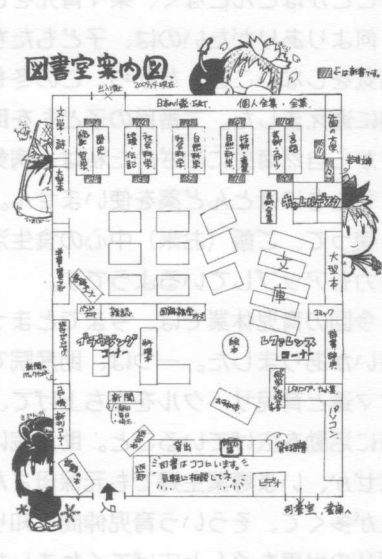
利用も増えてきて、カウンター周りも混雑してきたこともあって、春休みを使って大規模なレイアウト変更と、書架整理をすることにしました。

春日部東高は、公称蔵書35000冊。実は着任してから2年経ち、その間蔵書点検をしていないのです。

図書館案内図



図書室案内図



とにかく、書架がぎゅうぎゅうで、立たずに寝ている本もたくさん。これでは、本が見にくくて、お目当ての本が探せません。そこで、3月のテスト明けから、卒業した三年生にも手伝ってもらって、前任校でよくやっていた書架から古い本を抜いて書庫にしまっ、本をずらすという作業を始めました。

今度は妊婦じゃないから自分でどんどん動けます。久々の肉体労働で体力の衰えを身にしみて感じましたが、書架がみるみるキレイになっていく姿に、生徒とともに感動！ 職員室でも事務室で

も、「頑張っているから見に来てねー」と大宣伝をし、ギャラリーも集め、作業している生徒に「エライねー、ご苦労さま」と声をかけてもらいました。ほめられると生徒も張り切ってくれて（これは小さい子と同じですよ）途中で投げ出さずに最後まで書架をきれいにすることができました。

書架移動が終わったら、今度は図書館の模様替えです。近隣の高校を見学させてもらったり、友だちにうちの図書館を見てもらったりして、おおまかなレイアウトを考え、生徒といっしょに一日で一気に書架を移動しました。

この移動のおかげで図書館の入り口に広がり

でき、カウンター周りの混雑も解消しました。

書架に混在されていた辞書・辞典類を別置してレファレンスコーナーを設置することで調べ学習に関連する本を集めることができ、使い勝手もよくなったようです。

閲覧席が狭くなったのが難点ですが、入れ物が広がらないのでこれは仕方ないことです。本当は座席をもうちょっと減らせたらいいのですが、今の昼休みの混雑ぶりをみると、それも難しい…。

これから、本格的に総学が始まり、いよいよ忙しさも本番です。

夏に向けて、頑張るぞ！

（きのした みちこ：春日部東高校司書）

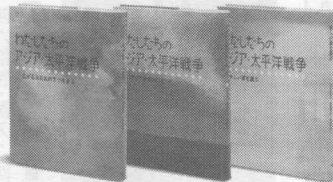
DMかたろぐ

平和への願いをつづる戦争体験集  
わたしたちの **最新刊**  
アジア・太平洋戦争

編 古田足日 米田佐代子 西山利佳 [全3巻]

被害者・加害者の両視点から“戦争”を語る。中国や韓国、アジアの人びとの体験も収録。

セット定価10,395円  
(セット本体9,900円+税5%)  
各B5変型判/各平均304頁



**童心社** <http://www.doshinsha.co.jp>  
〒160-0008 東京都新宿区三栄町22 TEL.03-3357-4181

中公新書・学校向けセット

1700点を超すラインナップの中から、学生向けにテーマ別のセットを作成しました。深く掘り下げた内容は、学生の教養をより豊かなものに育てます。

各セット 20点各1冊

- ①哲学・思想・心理セット 定価14,779円
- ②日本の歴史セット 定価16,083円
- ③世界の歴史・地誌セット 定価16,527円
- ④政治・経済・社会セット 定価15,160円
- ⑤言語・文学・芸術セット 定価14,721円
- ⑥自然科学セット 定価15,855円

中央公論新社

〒104-8320  
東京都中央区京橋2-8-7  
電話 03-3563-1431  
[www.chuko.co.jp](http://www.chuko.co.jp)

わからないことは物理の宝だ！

いまの高校物理に不満な人、  
物理をABCから学びたい人  
に贈る待望の書。

江沢 洋／著

物理は自由だ

- 1. 力学 B5判 3045円
- 2. 静電磁場の物理 B5判 2940円

**日本評論社** <http://www.nippyo.co.jp/> (価格は税込)  
東京都豊島区南大塚3-12-4 ☎03-3987-8621

◆学校の危機管理にもぜひ！  
**学校のための法学**  
篠原清昭／原田信之編著 ●自律的・協働的な学校をめざして、事例をもとに、教育法をわかりやすく解説する。 二六二五円

◆読書感想文募集中——7/20日、感想文保まで  
**川端康成** 美しい日本の私  
大久保喬樹著 ●自律的・協働的な学校をめざして、独自の芸術観を築きあげたノーベル文学賞作家の行程を見渡す。 二五二〇円

たのしく読む **日本児童文学** [戦前編] [戦後編]  
鳥越 信編著 明治／現代を描く。各冊二九四〇円

**ミネルヴァ書房** 京都市山科区日ノ岡堤谷町 1  
TEL075-581-0296 ※価格税込

限りなく広がる知識の世界

## 日本語文法がわかる事典

林 巨樹・池上秋彦・安藤千鶴子編 本書では誰でもわかり、納得できる文法事典にするため、例文を豊富に掲げ、270項目を取録し、わかりやすく解説した。 定価2940円

## アロマ・スカルプセラピー

—健康・美容のためのヘッドマッサージ—

松本ゆかり著 インド伝統のヘッドマッサージを現代向けに健康と美容のためにアレンジし、アロマセラピーを融合した話題のリラクゼーションを紹介する。 定価1995円

## 治る力を 統合医療のすすめ

よびさます 山本竜隆著 西洋医学と体のバランスを整え治療力を高める代替医療・自然医療との長所を統合した医療。 定価1995円

東京堂出版 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-17-5 F  
TEL 03-3233-3741 価格は税込

## 石器時代の人々(上・下)

図説人類の歴史(全10巻)

定価各9240円

## 楽しむ物理実験

東京理大サイエンス夢工房編

定価3045円

## 楽しむ化学実験

東京理大サイエンス夢工房編

定価3360円

## 楽しむ天文学辞典

岡村定矩監訳

定価10080円

## 楽しむ地理学辞典

田辺 裕監訳

定価9240円

'04総合図書目録あります。ご請求下さい。

朝倉書店 東京都新宿区新小川町6-29  
〒162-8707 ☎03-3260-7631

## 大統領ジェファソンの子どもたち

S・ラニア(インタビュー・文)  
J・フェルドマン(写真)千葉茂樹訳  
第三代大統領、独立宣言の起草者ジェファソンには、黒人奴隷サリーとのあいだに七人の子どもがいた！子孫にあたる青年が、二つの家系を訪ね歩きインタビュー。「建国の父」の家族の物語。



◆四六判/244頁/2520円

晶文社 〒101-0021 東京都千代田区外神田2-1-12  
電話 03(3255)4501 ※価格は税込  
http://www.shobunsha.co.jp/

## 図書館必備の基本図書

価格 東京都区文京区本郷七丁目二一八  
電話〇三三八三三九一五二

日本古来の神道文化は、歴史の中でどのように人々にとらえられてきたのか。神話世界から現代までの神道を理解するための四一〇〇項目を取録。仏教や儒教、天皇国家との関わりの中で発展した神道の歴史を読み解く。



吉川弘文館

## 神道史大辞典

日本人の心の原点「神道」の姿とは

四六倍判・函入・四四八頁  
二九四〇〇円(内容見本呈)

## 未来の文学

全5巻

四六変型・上製・平均280頁・各巻予価2520円

ジーン・ウルフの超傑作をはじめ、イアン・ワトソンの熱い処女作、奇才ディッシュ初の日本オリジナル短篇ベスト、待望のスタージョン、ラファティ長篇作など、60~70年代の幻の傑作・奇作SFをあつめるSFファン待望の夢のコレクション！

### 第1回配本・7月刊予定

★ジーン・ウルフ『ケルベロス第五の首』柳下毅一郎訳

以下続刊……

★イアン・ワトソン『エンベディング』山形浩生訳

★シオドア・スタージョン『ヴィーナス・プラスX』

大久保謙訳

★トマス・M・ディッシュ

『アジアの岸辺—トマス・M・ディッシュ短篇集』

若島正編訳・浅倉久志ほか訳

★R・A・ラファティ『宇宙舟歌』柳下毅一郎訳

国書刊行会 〒174-0056 東京都板橋区志村1-13-15(税込面)  
☎ 03-5970-7421 FAX 03-5970-7427

こんな本を待っていた！★日刊工業新聞第16回「技術・科学図書文化賞」受賞！！

—中学生からの全方位独学法—

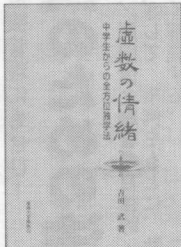
## 虚数の情緒

大好評発売中

吉田 武(よしだ・たけし) 著

工学博士(数理工学専攻)

この本は人類文化の全体的把握を目指した科目分類に拘らない「独習書」である。歴史、文化、科学など多くの分野が、虚数を軸に悠然たる筆致で書かれている。また人生の「参考書」ともなるよう、様々な分野の天才達を縦横に配した。漢字、電卓の積極活用なども他に例の無い独特のものである。



A5判・上製本・1032頁/定価(本体4300円+税)  
I S B N 4-486-01485-5 C3041 分野/自然科学(数学)

東海大学出版会

〒257-0003 神奈川県秦野市南矢名3-10-35  
TEL:0463-79-3921 FAX:0463-69-5087

URL http://www.press.tokai.ac.jp/ E-mail:webmaster@press.tokai.ac.jp